

長崎県交通局

長崎県営バスの取り組みについて

1 長崎県営バスについて

長崎県営バスは、1934（昭和9）年、雲仙国立公園が誕生した際に、観光開発に伴う旅客輸送手段として設立されました。

現在は長崎市・諫早市・大村市を中心とする路線バス並びに各都市や長崎空港と長崎市を結ぶ都市間輸送などの「乗合事業」のほか、本県と九州5県を結ぶ「県外高速事業」、県内最大規模の車両数とバスガイドを有する「貸切事業」を中心に総合的なバス事業を展開しています。



2 様々な取り組み

長崎県営バスでは、地域の皆様の身近な存在として、「安全・確実・快適・親切」をモットーに、様々な取り組みを行っており、そのいくつかをご紹介します。

◆交通安全教室

毎年9月20日の「バスの日」にあわせ、子ども達を招待した交通安全教室を開催しています。

◆地域・交流イベントへの参加

地域のまつりやイベントに交通局所有の「赤バス」や公式マスコットの「ポボル」とともに参加し、運転席での記念撮影など親子で楽しめる催しを行っています。

◆「夏休みこども定期券」の販売

夏休み期間に小学生が各市域内でバス乗り放題となる「定期券」を販売しています。路面電車と連携したセット券も好評です。

◆ドライビングコンテスト

乗務員の車椅子の乗車技術の向上を目的とした「車椅子コンテスト」を毎年実施してい

ますが、今年度は、運転技術や接客接遇の向上を目的に「ドライビングコンテスト」を併せて実施し、優秀者を表彰しました。

◆おでかけマップの作成

地域の魅力発信とバスの利用促進を図る目的で、バス路線沿線にスポットを当てて紹介する「県営バス de おでかけMAP」を現在7つの地域について作成、配布しています。

◆Instagramでの発信

県営バスの職員がオススメする写真を掲載しています。現在フォロワーは480人。バスガイドからの発信もあります。

3 免許返納者バス・高齢者バスについて

長崎県営バスでは、「交通事故防止」と「バス利用促進」を目的として「免許返納者バス」を、「高齢者の公共交通機関利用促進」を目的として満65歳以上の方を対象に、路線バスが定額で乗り放題になるフリー定期券「プラチナパス65」を発売しています。

「プラチナパス65」は、長崎県営バスの一般路線バスが全路線で乗り放題となる「全線フリー」乗車券と、「エリア限定フリー（長崎エリア、諫早エリア、大村エリア）」乗車券があります。

また、全線フリーをお持ちの方は、高速バスが割引料金で利用できます（土日祝・繁忙期を除く）。

4 県外高速バス「りんどう号」30周年

平成元年から運行している長崎と熊本を結ぶ県外高速バス「りんどう号」は、本年4月で運行開始30周年を迎えます。記念としてバス型のぬいぐるみの一般販売を予定しています。



りんどう号

問い合わせ：長崎県交通局

代表電話：095-822-5141